

平成 22 年 7 月吉日

報道関係各位

- ・ユニバーサルデザインフード生産金額前年対比 115.2%
- ・ユニバーサルデザインフード製品登録数 505 アイテムに



日本介護食品協議会

- ・ユニバーサルデザインフード生産金額前年対比 115.2%

今般、日本介護食品協議会では、会員企業を対象に平成 21（2009）年のユニバーサルデザインフード生産統計を集計した。この結果、生産量 5,880 トン、生産金額 7,226 百万円で前年対比はそれぞれ 107.3%、115.2%と前年に引き続き大きく増加した。

区分別では、区分 1 及び、区分 3 の伸びが生産量、金額ともに著しい。区分 1 については、高齢者施設や病院の給食として、通常食よりも 1 段階やわらかいユニバーサルデザインフードを利用することで、より多くの入所者等におなじメニューを提供できるようになることが増加の要因とみられる。区分 3 については、在宅や施設等でも調理の難しい加工度の高い食品として多く利用されていることがうかがえる。また、流通タイプ別にみると、乾燥、冷凍、常温とも増加、販売先別においても、市販用、業務用ともに増加している（図表別添）。

- ・ユニバーサルデザインフード製品登録数 505 アイテムに

ユニバーサルデザインフードの商品は現在 505 品目が登録され、これも年々数を増やしている（平成 22（2010）年 5 月末現在）。当初はレトルト食品などの常温食品の数が多かったが、近年では冷凍食品の登録数が著しく増えており 5 割を超えている。

【UDF 商品登録状況（505 品目・5 月末現在）】

| | 区分 1 | 区分 2 | 区分 3 | 区分 4 | とろみ調整 | 合計 |
|------|------|------|------|------|-------|-----|
| 乾燥食品 | 0 | 0 | 2 | 0 | 42 | 44 |
| 冷凍食品 | 57 | 19 | 193 | 7 | 0 | 276 |
| 常温食品 | 10 | 28 | 93 | 54 | 0 | 185 |
| 合計 | 67 | 47 | 288 | 61 | 42 | 505 |

協議会の発足以降、利用者、食品メーカー問わずユニバーサルデザインフードについての問い合わせは頻度を増していることから、今後さらに生産量、アイテム数は増加して行くことが見込まれる。

日本介護食品協議会



ユニバーサルデザインフード生産統計

日本介護食品協議会

| | | 平成18年(2006年) | | 平成19年(2007年) | | 平成20年(2008年) | | 平成21年(2009年) | |
|-----------|----|--------------|--------------|--------------|--------------|--------------|--------------|--------------|--------------|
| | | 数量(トン) | 金額(百万円) | 数量(トン) | 金額(百万円) | 数量(トン) | 金額(百万円) | 数量(トン) | 金額(百万円) |
| 区分 | 1 | 157 | 151 | 310 | 341 | 525 | 514 | 813 | 707 |
| | 2 | 425 | 404 | 483 | 484 | 410 | 409 | 402 | 413 |
| | 3 | 1,269 | 1,037 | 1,726 | 1,517 | 2,217 | 1,991 | 2,585 | 2,583 |
| | 4 | 1,593 | 895 | 1,570 | 1,097 | 1,415 | 920 | 1,016 | 814 |
| とりみ | | 566 | 1,490 | 750 | 1,920 | 912 | 2,440 | 1,065 | 2,710 |
| 合計 | | 4,010 | 3,976 | 4,839 | 5,359 | 5,479 | 6,274 | 5,880 | 7,226 |
| タイプ別 | 乾燥 | 561 | 1,483 | 745 | 1,914 | 912 | 2,440 | 1,091 | 2,789 |
| | 冷凍 | 1,118 | 845 | 1,749 | 1,395 | 2,058 | 1,753 | 2,066 | 2,065 |
| | 常温 | 2,331 | 1,648 | 2,346 | 2,050 | 2,510 | 2,081 | 2,724 | 2,373 |
| 合計 | | 4,010 | 3,976 | 4,839 | 5,359 | 5,479 | 6,274 | 5,880 | 7,226 |
| 販売先別 | 市販 | 684 | 857 | 933 | 1,081 | 976 | 1,093 | 1,099 | 1,287 |
| | 業務 | 3,325 | 3,119 | 3,907 | 4,278 | 4,503 | 5,181 | 4,782 | 5,939 |
| 合計 | | 4,010 | 3,976 | 4,839 | 5,359 | 5,479 | 6,274 | 5,880 | 7,226 |

暦年集計
金額は出荷ベース

ユニバーサルデザインフード平成21年(2009年)生産量・金額前年対比

| | | 平成21年(2009年) | | 平成20年(2008年) | | 09/08年対比 | | 09/07年対比 | |
|-----------|----|--------------|--------------|--------------|--------------|--------------|--------------|--------------|--------------|
| | | 数量(トン) | 金額(百万円) | 数量(トン) | 金額(百万円) | 数量(%) | 金額(%) | 数量(%) | 金額(%) |
| 区分 | 1 | 813 | 707 | 525 | 514 | 154.7 | 137.5 | 262.3 | 207.4 |
| | 2 | 402 | 413 | 410 | 409 | 98.1 | 101.1 | 83.2 | 85.3 |
| | 3 | 2,585 | 2,583 | 2,217 | 1,991 | 116.6 | 129.7 | 149.7 | 170.3 |
| | 4 | 1,016 | 814 | 1,415 | 920 | 71.8 | 88.5 | 64.7 | 74.2 |
| とりみ | | 1,065 | 2,710 | 912 | 2,440 | 116.8 | 111.0 | 141.9 | 141.1 |
| 合計 | | 5,880 | 7,226 | 5,479 | 6,274 | 107.3 | 115.2 | 121.5 | 134.8 |
| タイプ別 | 乾燥 | 1,091 | 2,789 | 912 | 2,440 | 119.6 | 114.3 | 146.5 | 145.7 |
| | 冷凍 | 2,066 | 2,065 | 2,058 | 1,753 | 100.4 | 117.8 | 118.1 | 148.0 |
| | 常温 | 2,724 | 2,373 | 2,510 | 2,081 | 108.5 | 114.0 | 116.1 | 115.7 |
| 合計 | | 5,880 | 7,226 | 5,479 | 6,274 | 107.3 | 115.2 | 121.5 | 134.8 |
| 販売先別 | 市販 | 1,099 | 1,287 | 976 | 1,093 | 112.6 | 117.8 | 117.8 | 119.0 |
| | 業務 | 4,782 | 5,939 | 4,503 | 5,181 | 106.2 | 114.6 | 122.4 | 138.8 |
| 合計 | | 5,880 | 7,226 | 5,479 | 6,274 | 107.3 | 115.2 | 121.5 | 134.8 |

本統計は日本介護食品協議会会員企業の「ユニバーサルデザインフード生産統計」です。介護食品全体の市場規模を表すものではありません。2008年「とりみ調整食品」の数値に誤りがあったため修正いたしました。数量1,038 912(t)、金額2,650 2,440(百万円)

図1 ユニバーサルデザインフード生産量・生産額推移

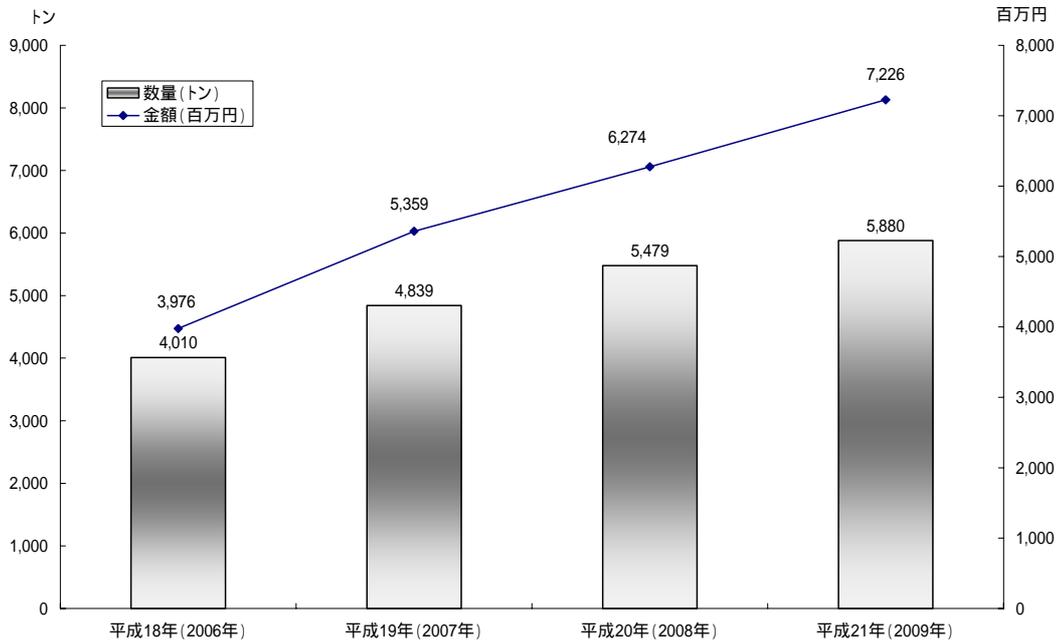
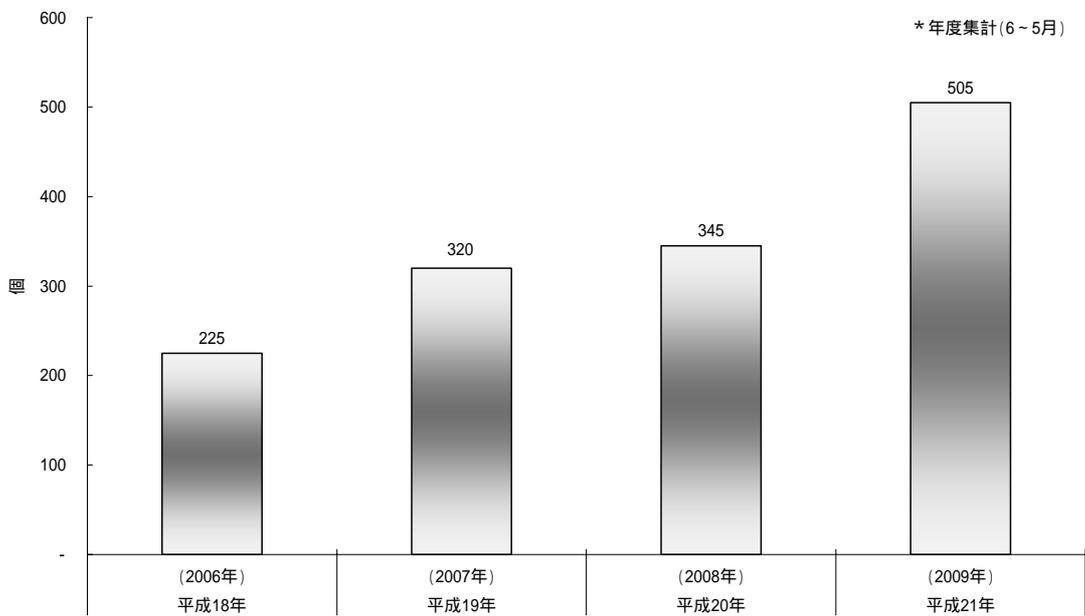


図2 ユニバーサルデザインフード商品登録数の推移



「日本介護食品協議会」について～介護食品の規格を統一～

我が国は「超高齢社会」をむかえましたが、以前より各食品メーカーでは「介護」シーンでの利用を考慮した食品の開発や販売を行ってきました。しかし、当初の「介護食品」はメーカーによって製造に関する規格や表示方法が異なるため、利用者の不便が指摘されてきました。

そこで、これら利用者の不便を解消するため、食品メーカーを中心に、素材や容器など多くの企業が集まり、『日本介護食品協議会』を設立（2002年4月）し、介護食品の「食べやすさ」「使いやすさ」などについて「統一規格」を制定しました。協議会では、その規格に適合する商品をすべての人がたべやすいことから「ユニバーサルデザインフード」とし、以降、次々と「ユニバーサルデザインフード」のロゴマークを表示した商品が誕生、現在もその数は増え続けています。

協議会では、「ユニバーサルデザインフード」をすべての利用者に安心して使っていただくために、関連する情報の発信や普及啓発活動、自主規格の整備などを行い介護食品業界の健全な発展を目指すとともに、みなさまの食べる楽しみを通じてQOL(クオリティーオブライフ・生活の質)の向上に貢献していきたいと考えています。

「ユニバーサルデザインフード」とは

日常の食事から介護食まで幅広くお使いいただける、食べやすさに配慮した食品です。その種類も様々で、レトルト食品や冷凍食品などの調理加工食品をはじめ、飲み物やお食事にとろみをつける「とろみ調整食品」などがあります。

ユニバーサルデザインフードのパッケージには必ずUDFマークが記載されています。これは日本介護食品協議会が制定した規格に適合する商品だけについているマークです。お客さまが選び易いよう、どのメーカーの商品にも「かたさ」や「粘度」の規格により分類された4つの区分を表示しています。この区分を目安にご利用に適した商品を安心して選んでいただけます。

まずはパッケージのUDFマークをご覧ください。

日本介護食品協議会会員である食品メーカーはこの規格に基づき商品を製造・販売しています。

【問合せ先】

日本介護食品協議会 事務局

〒101-0042 東京都千代田区神田東松下町 10-2

翔和神田ビル3階（日本缶詰協会内）

電話 03-5256-4801 F A X 03-5256-4805